

## ヤブヨモギ

*Artemisia codonocephala* Dielsキク科  
Compositae

## カテゴリー

大分県 II  
環境庁 II

**選定理由** 分布域が狭く、本県では、主として火山性高原に群生している。草原開発や植林、野焼きの停止などで、生育地の減少や消滅が懸念される。

**県内分布** 玖珠丘陵地・山地，九重火山群，由布・鶴見火山群，別府湾沿岸域

**分布域** 九州(熊本・大分)  
朝鮮半島 中国(北部・東北部)

**生育環境** 丘陵地や退散地の草地や林縁。

**現 状** 野焼きされている草原に群生地がみられるが、人工牧野や植林地などでは、ほとんど消滅している。

**備 考** 大陸系遺存植物。九州は、分布の南限域にあたる。  
異名ブンゴヨモギの基準標本産地 [豊後国飯田]

## ケショウヨモギ

*Artemisia dubia* Wall.キク科  
Compositae

## カテゴリー

大分県 準  
環境庁 掲載なし

**選定理由** 分布域が狭く、本県では火山性高原の湿地周辺にしばしば群生している。植林や野焼きの停止による植生の遷移で、生育環境の悪化が懸念される。

**県内分布** 玖珠丘陵地・山地，九重火山群，由布・鶴見火山群，大野川上流域

**分布域** 九州(熊本・大分)  
朝鮮半島 中国(北部・東北部) 蒙古 ,ダフリア ,インド

**生育環境** 丘陵地や低山地の湿地。

**現 状** 高原の湿地周辺地にしばしば群生しているが、植生遷移の進行で生育状態が衰退している所がある。

**備 考** 大陸系遺存植物。

## フクド

*Artemisia fukudo* Makinoキク科  
Compositae

## カテゴリー

大分県 準  
環境庁 掲載なし

**選定理由** 近畿地方以西の海岸や河口の塩泥湿地に分布する。本県でも塩湿地に生育し、しばしば群生する。海岸の開発や護岸工事により、生育地の消滅が懸念される。

**県内分布** 周防灘海岸，姫島・国東海岸，別府湾沿岸域，豊後水道域

**分布域** 本州(近畿地方以西) 四国 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・鹿児島)  
朝鮮半島

**生育環境** 海岸の塩湿地。

**現 状** 海岸の埋立てや多目的利用などによって、生育地を消滅した所がある。